

日本風景街道だより

2010年 秋 Vol. 12

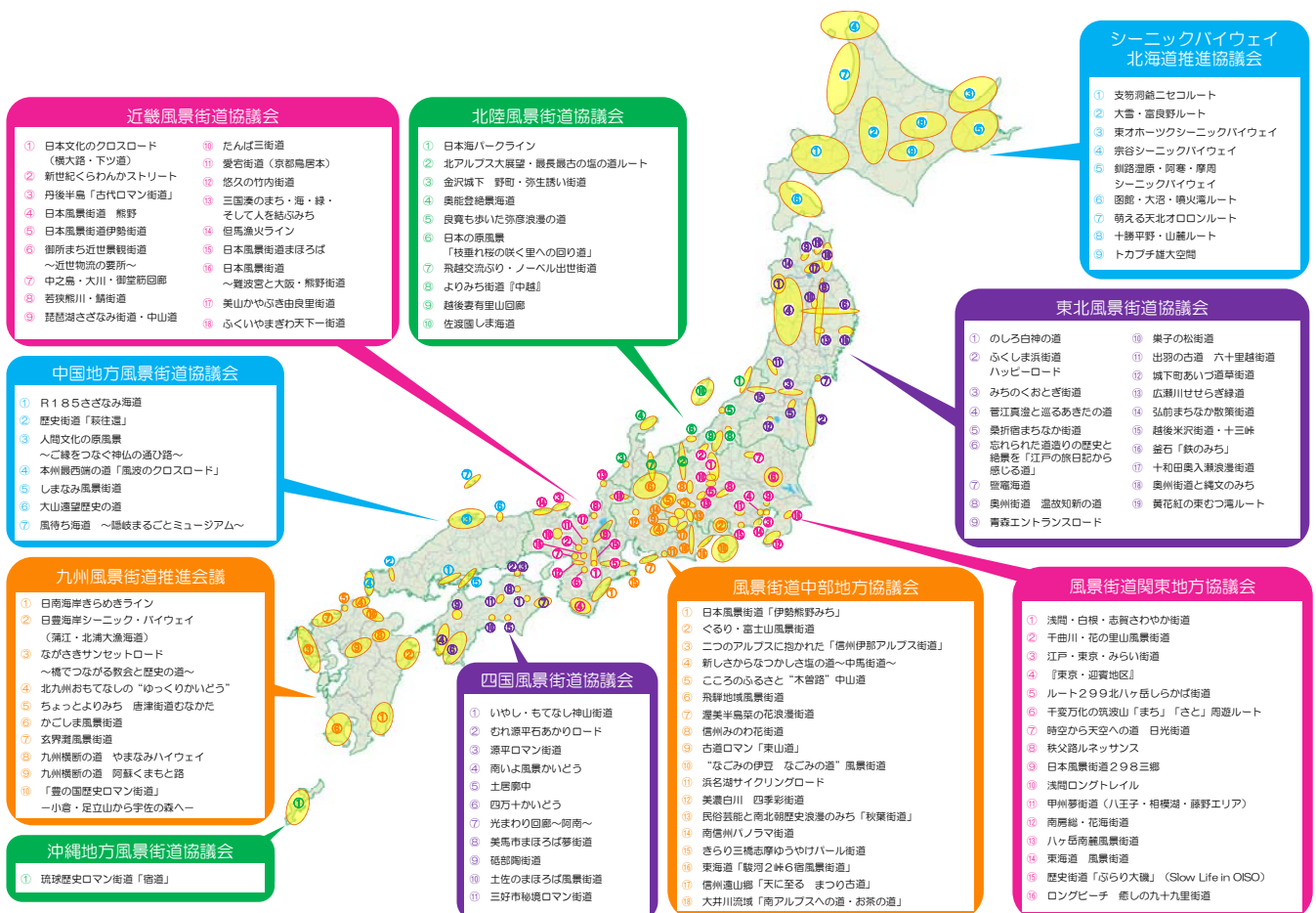
全国で119の風景街道が登録

平成22年8月に中部地方で2ルートが新規登録されました。

これにより全国で119の風景街道が登録されました(平成22年8月末現在)。

中部地方の新規登録2ルートは、【信州遠山郷「天に至る まつり古道」】及び【大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」】です。

なお、登録された各風景街道の概要は、日本風景街道ホームページ(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。



シリーズ: 各地域の風景街道の取り組み

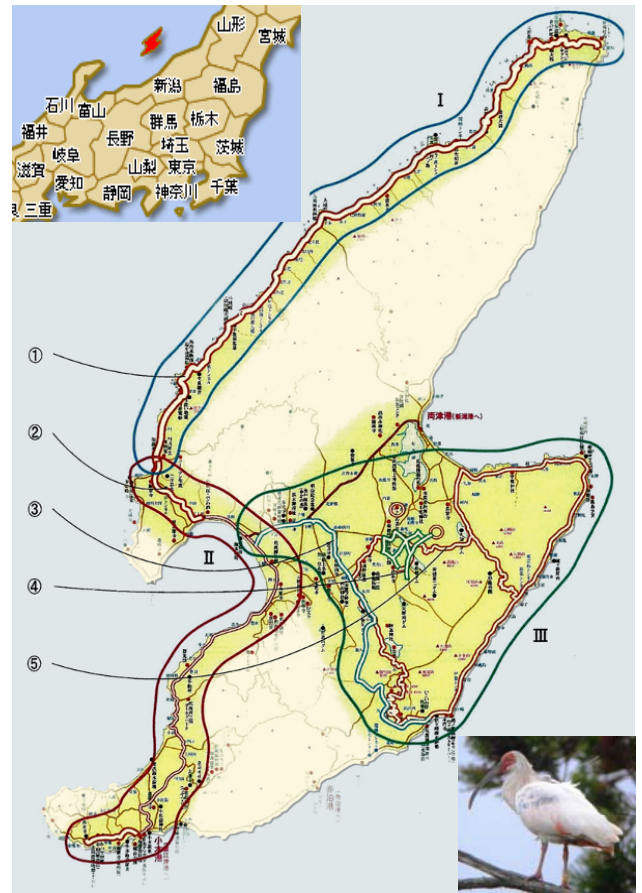
佐渡國しま海道 (北陸風景街道協議会)

1. はじめに

佐渡島は離島最大(約 855 km²・東京 23 区の約 1.4 倍)の面積を有し、北方よりはリマン海流が流れ、南方よりは対馬海流が流れ、北方の植物や魚介類の南限、南方の植物や魚介類の北限の島となっており、植物や魚介類の種類は非常に多く、野生のトキが国内で最後まで生息していた豊かな自然が今も残る島です。

かつて配流(島流し)の地であったため流人(政争に敗れた貴族や文化人や知識人などの主に政治犯)がもたらした貴族文化、金山の発展で江戸から持ち込まれた武家文化、北前船の寄港地として商人や船乗りたちが運んできた町人文化など、古来より日本各地から運ばれて来た様々な文化とそれに伴う歴史が今でも数多く残されています。

佐渡國しま海道ではこの恵まれた自然・文化・歴史と道の関係を再構築することで道自体の価値を高め、風景と風景・人と人を結ぶ道作りを通して観光振興、交流促進、地域の活性化をはかりたいと考えています。



2. ルートの概要

「好きな道、気になる道、その道をどうすればもっと美しく魅力のある道になるか」をテーマとし「佐渡・美しい道プロジェクト」の公募を行い 21 件の応募の中から有識者選考会により選ばれた 3 つのエリアと、そこに含まれる 5 つのルートを中心に活動を始め、小さな道の駅「寄れっ茶屋」事業の開始と共に活動は島の全域へと拡大しています。

- I. 外海府の海岸線をテーマとしたエリア
 - ①佐渡島無限海道ルート
- II. 相川・沢根「鉱山」をテーマとしたエリア
 - ②江戸時代を偲ぶ歴史海道ルート
- III. 小佐渡東部・トキをテーマとしたエリア
 - ③古代・北陸道(世阿弥が歩いた道)ルート
 - ④新穂銀山跡散歩道ルート
 - ⑤トキ街道～海みち・山みち・里みち～ルート

3. 活動内容

我々佐渡國しま海道では 3 エリア・5 ルートを重点エリア・重点ルートとし、さまざまな活動を行っています。本来なら個々に各ルートの紹介をしたいのですが書ききれないので、各ルートにつきましては佐渡國しま海道の HP をご覧ください。ここでは各ルートの活動も含めた代表的活動をご紹介します。

(1) 景観などの地域資源に関する活動

佐渡はもともと観光の島であり、大事な地域資源の一つである景観を守り改善する様々な活動が盛んに行われていて、佐渡國しま海道はボランティアとして積極的に参加するほかに、主催者として海岸の清掃や浴道のゴミ拾いウォーキングなどのイベントを計画・実行し景観改善に取り組

んでいます。ただ単に清掃活動をするのではなく、「冬の日本海に新年の願いを叫ぶ」というイベントに、会場となる海岸の清掃を組み合わせるなど工夫をこらした楽しいイベントを開催し好評を得ています。

重点ルートには古道や旧街道・山道のトレッキングルートがあるため、定期的に草刈りや倒木処理などの整備をするほかに、時には街道脇の倒れた石碑の復旧や痛んだ街道の砂利敷きなどの整備を行い、佐渡國しま海道の会員がガイドを勤める現地見学会やトレッキングを開催しています。



放置看板の残骸の撤去作業



街道脇の倒れた石碑の修復作業



トレッキングルートの草刈



海岸清掃後のきれいになった海岸で絶叫大会！



(2) トイレに関する活動

ここでいきなり「トイレ」と言うと「道」とは関係ないもののように感じますが、佐渡には電車がなく訪れた人が島内を移動するには車・自転車・徒歩など、どんな交通手段を使うにしても「道」を通るしかありません。そこで島を訪れた人にとってトイレは道と全く無関係ではないのです。主だった観光地や観光施設には公衆トイレが設置されているものの、そこから少し外れると公衆トイレが少なく佐渡に訪れる人は大変不便を感じていました。

〈オストメイト対応トイレの設置〉

身体障害者対応のトイレが少なく、中でもオストメイト(人口肛門・人口膀胱増設者)対応のトイレは島内に2箇所しか設置されておらず、全国に約30万人居るとされるオストメイトの方々が佐渡に観光に来たくても来られないという現状でありました。そこで佐渡國しま海道では市に要望書を提出するなどして、オストメイト対応トイレ設置の働きかけをした結果、公共施設3箇所と観光施設1箇所に新たに設置をしていただけました。まだまだ十分な数ではありませんが先ずは一步前進し、今後もこの取り組みを続けて参ります。

〈小さな道の駅 寄れっ茶屋〉

小さな道の駅をコンセプトに公衆トイレの少ない地域をカバーする為に始められた事業で、「寄れっ茶屋」とは佐渡の方言の「寄れっちゃ」と「茶屋」を掛けたネーミングです。

詳しい内容につきましては「ベストプラクティス集 ver.2」と「日本風景街道活動事例集【詳細版】」に掲載されていますのでそちらでご覧くださいますようお願いいたします。（※ベストプラクティス集・活動事例集は北陸の風景街道ナレッジサイトにもアップされています。）



市長要望の様子と設置されたオストメイト対応トイレ



青いのぼり旗が目印の「寄れっ茶屋」

(3) 今後の活動

佐渡國しま海道は自然・文化・歴史など豊富な地域資源に恵まれたルートです。贅沢過ぎる悩みかも知れませんが、豊富過ぎて「美しい道プロジェクト」でも絞りきれず3つの重点エリアと5つの重点ルートを中心に活動を開始しました。今後は佐渡國しま海道内での各ルート間の連携を密にして体制の強化に取り組むと共に、佐渡島内には景観整備や町並み保存、伝統文化や伝統芸能の保存や継承、地域の活性化などに取り組む集落や団体がまだまだたくさんあり、そのような団体との連携を図り佐渡全体で活動を盛り上げ、美しく賑わいのある佐渡を蘇らせ、将来に向けて創り育てる活動を続けて行きたいと考えています。

〈参考〉

日本風景街道プロジェクト 北陸の風景街道ナレッジサイト

http://www.hrr.mlit.go.jp/road/fukeikaidou/hokuriku-fukeikaidou.jp/hokuriku_knowledge/index.html

佐渡國しま海道 HP

<http://www.sado-kaidou.com/index.html>

〔執筆者〕

「佐渡國しま海道」パートナーシップ

佐渡市 建設課 渡辺 貴光

風待ち海道 ～隠岐まるごとミュージアム～（中国地方風景街道協議会）

1. ルートの概要

風待ち海道は、島根半島の北 40km～80km の日本海に浮かぶ四つの有人島（隠岐の島町、西ノ島町、海士町、知夫村）にまたがるルートです。風待ち海道では、離島ならではの海岸線の雄大な風景が楽しめるだけでなく、隠岐諸島の成り立ちや日本海形成の過程、北方系・南方系・大陸系・高山性の植物が混在する不思議な自然環境など、アカデミックな内容も合わせて楽しむことができます。

また、隠岐産の黒曜石は遙か 3 万年前から中国地方を中心として幅広く運ばれており、今日に伝えられている神社や祭りを通して隠岐を中継地とした人・文化交流の足跡も見えてきます。

このように、私たちが触れることのできる自然景観や歴史、文化の背景を含めて体感できる、まさに隠岐は「まるごとミュージアム」なのです。



Oh!道 Map

2. 推進組織

活動の推進母体としては、隠岐の 4 ヶ町村の行政と経済団体、観光協会、地域づくり団体が構成された「風待ち海道協議会」があります。また、平成 21 年に設立された「隠岐ジオパーク推進協議会」とも連携し、日本風景街道の認定地である「風待ち海道」の魅力アップを目的に、ユネスコが支援を行う世界ジオパーク認定に向けた活動にも取り組んでいます。

3. 風景街道の活動

近年、隠岐を訪れるほとんどの方がレンタカーを利用して周遊されるため、風待ち海道協議会では利用者のニーズに合わせた色々なマップ作成や、道路沿いで見られる資源の解説看板整備にも取り組んでおり、平成 19 年度には「まちめぐりナビプロジェクト」の事業によって、携帯端末を利用したナビシステムの開発も行っています。

また、バスガイドやタクシー運転手、宿泊施設の従業員などの観光事業者のスキルアップとガイド育成のための講座『風待ち海道エコツーリズム大学』を毎年開催しており、受講生の中から 8 名の方がプロガイドとしても活躍しています。

◆地域資源を紹介するマップ

①Oh!道 Map：道路沿いの地域資源を楽しく紹介しています。（前頁参照）

②OKI まるごとミュージアムマップ：道路沿いで見られる神社・仏閣から祭り、地層・地質、動植物にわたるまで、ジャンル別に詳しく解説しています。



③R Map（ロマンスマップ）：カップルを対象として、ロマンティックなスポットを紹介しています。



④さんぼ絵図：各島の玄関口である港周辺の散策を楽しんでもらうためのマップです。また、それぞれの通りには「通り名」を付け、通り名の由来解説もあわせて通り名による道案内を行っています。



さんぼ絵図



通り名由来解説



通り名看板

◆携帯端末を利用したナビシステム

初めて隠岐を訪れた方に効率良く周遊していただくために、地域資源のデータを携帯端末に入力し、それぞれのモデルコースを選択すると画面上にコース図が表示され、地域資源に近づくと自動的に写真と解説が日本語または英語で表示されるシステムです。



◆ガイド養成講座

平成16年度から開催しているガイド養成講座では、風待ち海道協議会に参画しているまちづくりグループの方々が講師として実施してきましたが、平成20年度からは島根大学の協力によって、より専門的なジオパークガイドの養成にも取り組んでいます。



町歩きガイド講座



ジオツアーガイド講座

4. 世界ジオパーク認定に向けた活動

風待ち海道協議会では、風景街道のブランド力の向上と魅力アップを目的として、平成20年度よりユネスコが支援を行う世界ジオパークの認定を目指して活動を行っています。平成21年11月には隠岐諸島の日本ジオパーク認定を記念したシンポジウムを開催し、今後は平成23年の世界ジオパーク申請を予定しています。



5. 企業との提携

こうした活動は、大手企業であるイオングループとの提携という大きな成果をもたらすこととなりました。

隠岐諸島地域における環境保全、伝統文化の保存伝承、生態系の保護によって世界的な認定地を目指し、隠岐地域の観光振興および地域の発展を目的に、プリペイド式の電子マネー「隠岐ジオパーク WAON」カードを発行し、カード利用の一部が隠岐地域の活動に寄付されるのです。



隠岐諸島の環境保全による観光振興および地域の発展を目的とした協議会の活動趣旨と“地域社会に貢献する”という基本理念をもつイオングループとが「環境保全」というテーマにおいてその理念が一致したことによって今回の提携が実現しましたが、このことは、隠岐の魅力を大手企業であるイオングループが認めたといっても良いのではないのでしょうか。

また、今回のイオングループからの支援によって、これまで活動内容よりもその資金確保に苦慮してきた課題を克服することができ、継続した活動と組織の自立に向けた基礎が構築できるものと期待されています。

6. 新たな雇用の創出

年々減少する観光客数と公共事業費の削減によって隠岐の経済状況は悪化していますが、そうした中、新たな雇用の場も創出されるようになりました。

隠岐産の黒曜石を採掘・加工する黒曜石店では新たに二人の若者を雇用し、UIターン者で設立された旅行会社「隠岐旅工舎」では、着地型の旅行商品の販売とともに隠岐の島町の中心部を流れる八尾側の「かっぱ遊覧船」も運航しています。



若者を雇用した黒曜石店



隠岐旅工舎のスタッフ

7. おわりに

協議会では、隠岐地域の活性化を目的として風景街道の活動や世界ジオパーク認定を目指した活動を推進していますが、『誇りを持って隠岐を伝えて欲しい!』という願いも込められています。現在でも、世界的にも誇れる貴重な資源が数多く残されているのですが、身近に有りすぎてその価値が分からないため活用もされていないのです。

隠岐に住む人が隠岐の価値を再認識し、隠岐の出身であることの誇りを持って紹介できるようになれば、隠岐諸島および風景街道の更なる魅力アップにつながるのではないかと考えています。

『誇りを持って隠岐を伝える』

私たち風待ち海道協議会の願いです。

〈執筆者 風待ち海道協議会事務局 野辺一寛〉

事例紹介:インターネット「You Tube」での魅力紹介

信州遠山郷「天に至るまつり古道」

～ 古き伝統文化が息づく天空に一番近い郷(さと) ～

1. ルートの概要

遠山郷（上村・南信濃地区）は長野県南部に位置し静岡県浜松市と接し、日本三大秘境のひとつとされており。

南アルプス南部の山あい位置する遠山郷は、古くから秋葉街道の宿場街として栄え、現在では日本の原風景が残されている貴重な地域です。

旧秋葉街道を中心とする国道152号、256号、418号、市道、林道で遠山郷の原風景を繋ぐ道筋、周辺の地域資源を巡るルートです。

中でも見どころは、不思議の神が舞い遊ぶ「遠山霜月祭」。古い伝統と古式豊かな祭事です。

日本の原風景が残る山の里。日本のチロル「下栗の里」は南アルプスを望む飯田市上村にあります。

遠山温泉郷「かぐらの湯」。南アルプスの麓に沸く天然温泉です。

南アルプスの展望台「しらびそ高原」。目の前に広がる南アルプスの雄大なパノラマに圧倒されます。

その他、数多くのおすすめ・見どころに溢れた地域です。



国の重要無形民俗文化財
800年の伝統を受け継ぐ
「遠山の霜月祭」



日本のチロル「下栗の里」



道の駅 遠山郷「かぐらの湯」

2. 情報発信（インターネット「YouTube」での魅力紹介）

～「知って欲しい」・「訪れて欲しい」の思いから～

遠山郷（上村・南信濃地区）は、日本三大秘境と言われるほど、地域の観光資源（魅力ある風景など）はたくさんありますが、あまり広く知られておらず、知る人ぞ知るというのが現状です。

このため当地域では、地域の魅力を紹介し(知っていただき)、多くの方に訪れていただくことを重点に取り組んでいます。

特に、お金をかけずにより多くの人に知らせる方法がないか検討しました。そんな中、インターネットを活用し、お金をかけずに紹介できるツール「YouTube」があることを知り試行的に取り組みました。

【YouTube の活用】

「YouTube」への動画は、訪れて欲しい街道を実際に車で走り、その映像をデジカメの動画で撮影したものを「紹介VTR」としてアップしました。

実際に「下栗の里」へ訪れた感じが出ているので一度ご覧下さい。

※**ユーチューブ**、**風景街道**のキーワードで、検索（メリット）

- 下栗の里の道路状況や観光案内に使用
- 8/18アップ後5週間で、349アクセスの反響

【YouTube を効果的にするために】

～アクセス数アップの取り組み～

「YouTube」への投稿だけでなく、知名度の高いHPでの紹介が効果的であると考え、観光協会HPのブログでも紹介しました。

3. 今後の取り組み

今後は、観光協会のホームページのリニューアルを予定しており、四季折々のおすすめ情報や、各街道沿いの「紹介動画」を充実させ、昨今のパワースポットブームに乗って観光と産業振興を行っていきたいと思います。



The image shows a YouTube video player and a blog post. The video player is titled "日本風景街道 信州遠山郷「天に至る まつり古道」" and shows a scenic view of a mountain road. The blog post is titled "秘湯と秘境の里 遠山郷便り" and contains text about the video and the region. The blog post also includes a comment section with one comment.

信州遠山郷「天に至るまつり古道」推進協議会

遠山郷観光協会 事務局 ちく こういち
知久 孝一

http://www.tohyamago.com/

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。

掲示板利用の登録や、日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡下さい。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	種蔵 史典	011-709-2311(代表) (内線 5357)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	宍戸 英雄	022-225-2171(代表) (内線 4256)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	下坪 賢一	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸 風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 道路計画課 内)	遠藤 正樹	025-280-8880(代表) (内線 4213)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	廣瀬 昌俊	052-953-8171(代表) (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	竹井 賢二	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	角 秀俊	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	助田 豊治	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	中川 英一	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	高良 哲治	098-866-1914(代表) (内線 4353)

【文献紹介】

“都市をつくる風景—「場所」と「身体」をつなぐもの”

中村 良夫著(日本風景街道戦略会議副委員長)

刊行年月 2010年5月 出版元 藤原書店

ISBN: 9784894347434

⇒景観まちづくりの本です。日本風景街道も紹介されており、活動にあたって具体的なヒントになりそうです。

【ご意見お寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的に年4回程度発行する予定にしています。掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

発行：国土交通省道路局環境安全課道路環境調査室
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8497 FAX: 03-5253-1622

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>